

応用動物科学コースの授業科目

応用動物科学コースの教育科目群は、主に生命科学、生産科学、保全科学の3つに分けられ、更にそれらに対応する実験実習から構成されています。

動物の生命科学



動物の生産科学



動物の保全科学



動物の生命科学を基礎に、家畜生産から希少動物の保全まで

- 生物化学
- 動物発生学
- 動物工学
- 動物遺伝学
- 動物生理学
- 動物系統進化学
- 生物形態学
- 動物機能形態学
- 動物免疫学
- 実験動物学

- 動物育種学
- 動物栄養学
- 動物生産栄養学
- 動物繁殖学
- 動物卵科学
- 動物管理学
- 動物生産管理学
- 応用動物行動学
- 動物性食品化学
- 生産環境関係法規

- 生物多様性国家戦略を読みこなす
- 野生動物管理学入門
- 野生動物保全科学
- 動物園学
- エキゾチックアニマル論
- ビオトープ論

〔実験・実習〕

- 動物発生学実験
- 動物生理学実験
- 牧場実習
- 野生生物フィールド実習
- 動物行動管理学実験実習
- 動物機能形態学実習
- 新入生セミナー(多様な動物の世界)
- 動物分子遺伝学実験
- 動物栄養学実験
- 動物園学実験実習

(註) 一部、生産環境科学課程の共通科目や全学共通教育科目も含まれています。
一部の科目名等は、カリキュラム充実のため変更されることがあります。

